

5 心不全の薬物治療

「目に見える治療」と「目に見えない治療」

心不全の薬物治療は、主に以下の2つに分けられます。

- **目に見える治療**（症状の緩和）：利尿薬など
- **目に見えない治療**（予後の改善）：ファンタスティック4に代表される心保護薬など

このうち、「目に見えない治療」は、患者さま自身が効果を実感しにくいため、服薬の必要性が十分に伝わらないと、自己判断による中断につながるおそれがあります。

なお、心不全の薬物治療は「目に見える治療」と「目に見えない治療」の両方を行うことが重要です。「目に見える治療」は、症状の緩和に効果的ですが、長期的な予後の改善には効果が期待できません。「目に見えない治療」は、長期的な予後の改善に効果的ですが、症状の緩和には効果が期待できません。そのため、両方を行うことが重要です。

このように、心不全の薬物治療は「目に見える治療」と「目に見えない治療」の両方を行うことが重要です。

心不全における薬物治療の基本

心不全の薬物治療は、主にステージCの症候性心不全を対象としています。ステージCの症候性心不全とは、心不全の症状が持続している状態を指します。

心不全の薬物治療は、主にステージCの症候性心不全を対象としています。ステージCの症候性心不全とは、心不全の症状が持続している状態を指します。

心不全の薬物治療は、主にステージCの症候性心不全を対象としています。ステージCの症候性心不全とは、心不全の症状が持続している状態を指します。



【ガイドラインに基づく治療（処方例）】

● 利尿薬（うっ血の解除）

利尿薬は、心不全の症状を緩和するための重要な薬です。利尿薬の効果は、尿量を増やすことで、体内の水分を排出することによって得られます。利尿薬の種類は、ループ利尿薬、チオジアイド系利尿薬、オスモティック利尿薬などがあります。

● ファンタスティック4（予後の改善）

ファンタスティック4は、心不全の予後の改善に効果的な薬です。ファンタスティック4は、心不全の予後の改善に効果的な薬です。